

メッセナゴヤ 2015 北海道ブースに出展

(社会連携推進センター)

11月4日(水)～7日(土)の4日間、名古屋市国際展示場(ポートメッセなごや)を会場としたメッセナゴヤ 2015 が開催されました。本フェアは中京圏を中心とした自動車関連企業、名古屋地域のモノづくり企業が出展参加する日本最大級の異業種交流展示会です。製造業をはじめ、サービス、各種団体や情報通信等、幅広い分野の中小企業が参加し、今年は過去最多となる1300を超える企業・団体が出展しました。

中京圏市場に対し北海道内企業や学術機関の技術・製品等、高い技術のアピールを目的として設けられた北海道ブースでは、北海道の企業や学術機関が有する自動車関

連技術、医療、エネルギー、環境関連技術、寒冷地技術を活かした新エネルギー・省エネルギー化などの取り組みに焦点をあて、16の企業と本学を含む5つの大学が出展しました。本学からは、マテリアル工学科の阿部良夫教授が取り組む「スマートウィンドウ用の高耐久性水酸化物系エレクトロクロミック材料の開発」を紹介しました。

本フェア全体の来場者は約6万3千人にのぼり、北海道ブース、そして本学ブースにも多くの方に足を運んでいただきました。本学は中京圏出身の学生が多く、名古屋で行われた本フェアは、大学広報の面からも貴重な場となりました。